

《 提出書類の記載例 》

1・償却資産申告書

- ◎ 前年度までに申告された方は、住所、氏名及び取得価額を昨年の申告をもとに印字しています。
印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記載してください。
- ◎ 今回初めて申告される方は、所有者コードを除き、全て記載してください。

令和7年〇月〇日		令和7年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）		※ 所有者コード 8001234																																																																																																																																																																									
受付印		東 浦 町 長 殿																																																																																																																																																																											
所有者	1 住 所 (又は納税通知書送付先)		470-2102 東浦町大字緒川字政所20 (電話 0562-83-3111)										3 個人番号又は法人番号		1		2		3		4		5		6		7		8		9		0		1		2		3		8短縮耐用年数の承認		有・ ☐ 無																																																																																																																																		
	2 氏 名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)		ひがしうら たろう 東 浦 太 郎 (屋号 東浦サービス)										4 事業種目 (資本金等の額)		電気機器部品製造業 (10 百万円)										5 事業開始年月		平成 7 年 4 月										6 この申告に該当する者の係及び氏名 (電話 経理担当 名古屋 花子 0562-83-3111)		7 税理士等の氏名 (電話 O×税理士事務所 東海 二郎 0562-83-8333)		9増加償却の届出		有・ ☐ 無		10非課税該当資産		有・ ☐ 無		11課税標準の特例		有・ ☐ 無		12特別償却又は圧縮記帳		有・ ☐ 無		13税務会計上の償却方法 (定率法・定額法)		定率法・ ☐ 定額法		14青色申告		(有)・ ☐ 無																																																																																																														
	資産の種類		取得価額										前年中に取得したもの(イ)										前年中に減少したもの(ロ)										前年中に取得したもの(ハ)										計(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)										15 市(区)町村内 における事業所 等資産の所在地		① 緒川字屋敷武区58-1																																																																																																																						
	1 構築物		前年前に取得したもの(イ)										前年中に減少したもの(ロ)										前年中に取得したもの(ハ)										計(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)										2 機械及び装置		1 052 000										150 000										1 202 000										② 生路字森腰1-1																																																																																																		
2 船舶																																										3 航空機																						4 車両及び運搬具		1 540 000										1 540 000										5 工具、器具及び備品		679 950 000										79 950 000										1 138 000										601 138 000										6 合計		690 150 000										83 200 000										1 288 000										608 238 000										17 事業所用家屋の所有区分		自己所有・ ☒ 借家	
18 備考（添付書類等） 申告内容																																18 備考（添付書類等） 申告内容		① 資産の増減あり 2. 資産の増減なし		3. 該当資産なし		異動事項（異動日 R6 年 5 月 1 日）		1. 廃業、解散等		2. 送付先の変更		3. 名称（氏名）の変更																																																																																																																																	

＜所有者住所氏名＞
押印は不要です。
個人営業の方は、必ず屋号を記載してください。
相続があった場合は、相続により取得された方の住所氏名により申告してください。
(印字してある前所有者名に抹消線を引き、余白に新所有者名を記載してください。)

法人の方は法人番号を記入してください。(個人の場合は不要です。)

＜事業種目＞
2以上の事業を行っている場合は主たる事業を記載します。
法人の場合は、資本金（出資金）も記載してください。

＜所有者コード＞
今回初めて申告する方は、記載しないでください。

＜短縮耐用年数の承認等＞
各項目の有無等について、該当する方を○で囲んでください。

＜資産の所在地＞
事業所等、資産の所在地を記載してください。

＜借用資産＞
借用（リース）資産の有無について、該当する所有区分を○で囲ってください。
なお、借用資産がある場合には貸主の名称等を記載してください。

＜事業所用家屋の所有区分＞
事業所用家屋の所有区分について該当する方を○で囲んでください。

＜備考＞
「申告内容」、「異動事項」等のうち、該当するものの番号を○で囲んでください。

その他、以下に該当する場合は記載してください。

①住所、氏名等の変更があった場合は、変更事由（商号変更等）、変更年月日

②課税標準の特例適用資産、又は非課税資産を所有している場合には、その届出書、添付種類の名称

③短縮耐用年数、増加償却が適用されている資産を所有している場合には、その届出書、添付種類の名称
※届出書を添付してください。

④相続があった場合は、「被相続人 ○○ より相続」と記載してください。

前年度までに申告されている方のみ、令和6年1月1日現在の取得価格が印字されます。

{前年前に取得したもの(イ)} - {前年中に減少したもの(ロ)} + {前年中に取得したもの(ハ)}によって算出した取得価額の合計額を資産の種類別に記載してください。

2・種類別明細書（増加資産・全資産用）

- ◎ 前年度までに申告していただいた資産は、資産の種類ごとの取得年月日順に印字されていますので、下の記載例にならって、前年中に異動があった資産を手書きで加除修正してください。
- ◎ 今回初めて申告される方、電算により全資産申告される方は、全償却資産を記載してください。
- 令和7年1月1日現在に所有しているすべての資産を下の記載例（「③資産が増加した場合」の例）にならって手書きで記載してください。

＜取得年月＞
該当資産の取得した年月を記載してください。
年号欄 3＝昭和 4＝平成 5＝令和

<所有者氏名>
所有者名を記載してください。

2枚のうち、1枚目というようにページ数を記載してください。

＜増加事由＞
 該当資産の増加事由を○で囲んでください。それそれの事由に対応する数字は次のとおりです

- 1＝新品
- 2＝中古取得
- 3＝移動による受け入れ
 （摘要欄に受け入れ元を記載してください）
- 4＝その他
 （摘要欄に理由を具体的に記載してください）
 （例 前年度申告もれ）

＜摘要欄＞
該当する資産について、次のような事項を記載してください。

(1) 資産が減少した場合は、その年月と理由
(例 R6. 2 除却)

(2) 課税標準の特例、及び非課税該当資産については、その適用条項
(例 法附則第15条第4項)

(3) 耐用年数の変更があった場合は、その旨を記入
(例 耐用年数改正)

(4) 増加償却を行っている場合は、その旨を記載
※「増加償却届出書」の写しを添付してください。

(5) ナンバープレートの交付を受けている大型特殊自動車については、そのナンバープレートの番号

＜記載にあたって＞

該当資産の名称、規格等を下記のとおり記載してください。

(a) 資産の種類順に記載してください。

(b) 漢字、カタカナ、アルファベット、数字で記載してください。

(c) 名称が同じものが続く場合でも、「同上」「Ⅰ」などの記載ではなく、それぞれの名称を記載してください。

(d) 耐用年数、取得年月、数量の記載漏れに注意してください。

＜所有者コード＞
今回初めて申告される方は、
記載しないでください。

＜資産の種類＞
 該当資産の種類を数字で記載してください。それぞれの種類に対応する数字は下記のとおりです。

- 1＝構築物
- 2＝機械及び装置
- 3＝船舶
- 4＝航空機
- 5＝車及び運搬具
- 6＝工具・器具・備品

※償却資産申告の手引きの
3を参照して下さい。

＜資産コード＞
記載する必要はありません。

令和7年度

所有者コード
8001234

種類別明細書（増加資産・全資産用）

所有者氏名
東浦太郎

2枚のうち
1枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価格			耐用年数	減価 残存率	価額			課税標準額	増加 事由	摘要	
					年	月	日	千	百	十			円	千	百				十
1	1		チュウシヤジヨウホソウ	1	4	1	5	1	2	10	4	358	000	1	0	0		1・2 3・4	
2	1		自転車置場	1	4	1	7	1	2	3	250	000	7	0	0		1・2 3・4	R6. 2除却	
3	2		カンバン	1	4	0	9	1	1		479	000	2	0	0		1・2 3・4		
4	2		レイトウコ	1	4	0	9	1	1		573	000	1	5	0		1・2 3・4		
5	5		フォークリフト	1	4	0	8	0	4		1	540	000	4	0	0		1・2 3・4	
6	6		パイプセツタンキ	26 39	4	1	7	1	2		600 679	000 959	000 000	6 5	0 0			1・2 3・4	R6. 3一部廃棄 による修正 耐用年数改正 による修正
7	2		食料品製造業用設備	1	5	2	0	2			150	000	1	0	0		1・2 3・4		
8	6		パソコン	1	5	2	0	4			175	000	4				1・2 3・4	〇〇工場より R6. 4移設	
9	6		コピー機	1	5	2	0	4			963	000	5				1・2 3・4		
10																	1・2 3・4		
11																	1・2 3・4		
12																	1・2 3・4		
13																	1・2 3・4		
14																	1・2 3・4		
15																	1・2 3・4		
16																	1・2 3・4		
17																	1・2 3・4		
18																	1・2 3・4		
小計				33 35							608	238	000						

①資産が減少した場合
明細書に印字されている該当の資産を
二重線で抹消してください。

② 資産の項目を修正する場合
明細書に印字されている該当の資産の修正
すべき箇所を二重線で抹消し、その上に修
正後のデータを記載してください。

印字されている一行の資産の一部が減少し
た場合は、数量と取得価格を二重線で抹消
し、残った数量と取得価格をその上に記載
してください。

こちらの部分は記載する必要はありません。
【電算による全資産申告する場合は記載し
てください。】

③資産が増加した場合
明細書の余白に、記載例にならって記載
してください。
該当資産に適用する耐用年数を耐用年数
表「減価償却資産の耐用年数等に関する
省令」に基づいて記載してください。

<取得価格>
該当資産の取得価額を右詰めで記載してください。

<小計欄>
小計を記載してください。

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。